活用編: すぐに利用できる機能を使ってみよう

活用編では、これまでにご紹介してきた標準コンポーネントを組み合わせて、実際に利用できる機能をご 紹介します。

◆目次

| 活用編: すぐに利用できる機能を使ってる | みよう1 |
|---------------------------------|------|
| LESSON. 14 テーブルとガントチャートの機能を拡張しよ | :う |
| Step.1 テーブルに列を追加 | |
| Step.2 テーブルに行を追加 | |
| Lesson. 15 テーブル機能を拡張しよう | |
| Step.1 階層的な画面編集 | |
| Step.2 ボタンとテーブルで構成された画面 | |
| Step.3 データの型 | |
| Step.4 列ごとの機能 | |
| Step.5 選択解除 | |
| Step.6 行を追加する | |
| Step.7 サブルーチン | |
| Step.8 ボタンの有効化・無効化 | |
| Step.9 行を削除する | |
| Step.10 選択されている行を上・下に動かす | |

Lesson.14 テーブルとガントチャートの機能を拡張しよう

Lesson. 11 で作成したテーブルとガントチャートの機能を拡張してみましょう。

<u>Step.1 テーブルに列を追加</u>

テーブルに氏名(列)を追加できるボタンを作成しましょう。

完成図

____右側に列追加ボタンを作成します。



考え方

- 1. ボタンがクリックされたら(押されたら)列を2列追加したい。
- 2. 列追加ボタン(ここでは[作業者登録]ボタン)を作成するため[ボタン] コンポーネントを 追加する。
- 3. 作成する列名を取り込むフィールドを用意するため [テキストフィールド] コンポーネントを 追加する。

準備 ここでは以下のコンポーネントを追加します。

| コンポーネント名 | 必要数 | |
|------------|-----|-----------------------------|
| ■ボタン | 1 | [画面構成部品]-[ボタン]-[ボタン] |
| ■テキストフィールド | 1 | [画面構成部品]-[テキスト]-[テキストフィールド] |

操作 列追加ボタン、列名入力フィールドを追加しましょう。(Lesson. 11 のファイルに追加します)

必要なコンポーネントを追加します。
 作業領域で右クリックー[コンポーネント追加] - [画面構成部品] - [ボタン] - [ボタン]、
 作業領域で右クリック-[コンポーネント追加] - [画面構成部品] - [テキスト]
 - [テキストフィールド] と順にクリックし追加します。

| MZ Platform アブリケーションビルダー | | |
|---|---------------------------|-----------------------------------|
| ファイル アプリケーション オプション ヘルプ | | |
| アプリケーション名称 | | |
| ■ アブリケーション レロション レロショー アブリケーション アブリケーション アブリケーション 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 | ガントチャートのデータを設定する | ガントチャート 10:3 レンジーザン・トチャート2* |
| | フレームを表示する | |
| 70-4 0-1 | アプリケーションを終了する | KEY:"フレーム1" ■ アプリケーション |
| KEY: "フレーム1" ■ デーブル データ更新イベント | ガントチャートのデータを設定する | KEY:"" ゴガントチャート |
| U:Y2:"テーブル2" ガントチャート 10:3 | テーブルデータを設定する | U:3 KEY2:"ガントチャート3" □ テーブル |
| ビビバ:サントチャート3* 米タン ホタン | | <u>(KEÝ:"テーブル2"</u> |
| KEY:*ボタン4* | | |
| 10-3 KEY: "テキストフィールド5" | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 【アイコン凡例】 🛑 アブリケーション 📰 画面構成部品 🗐 ウィンド | ウ 🧐メニュー 🗐パネル 🗐処理部品 🗐 複合() | 画面構成) 🛑 複合(処理) 🛑 リモート |
| 実行(実行(設定可))(画面編集)(帳票編集) | ロード 挿入 保存 上書き保存 | クリア 終了 |

画面編集

① 画面を作成します。

画面編集をクリックします。

[ボタン] コンポーネント、[テキストフィールド] コンポーネントをフレームに追加します。 配置方法を[手動配置]にして体裁を整えます。

閉じるをクリックしてビルダー画面に戻ります。



コンポーネントが追加できたことを確認します。
 実行(設定可)で実行します。



③ [ボタン]の名前を変更します。
 [ボタン] コンポーネントの上で右クリックー [テキスト]をクリックします。
 「<ボタン>」を消して「作業者登録」と入力し適用をクリックします。



④ ボタン名が変更されます。



接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

追加する列の情報(列名)を得て列を追加する

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|-------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ボタン(ID:4, Key:作業者登録) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
| | |
| 起動メソッド | 列を追加する(String,Class) |
| <引数0> | 説明:列名 |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テキストフィールド |
| | メソッド/値:テキストを取得する |
| <引数1> | 説明:列型 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値 : java.util.Date |

情報(列名)のない列を追加する2

| 接続先コンポーネント❷ | ■テーブル (ID:2) |
|-------------|-------------------------|
| 起動メソッド | |
| <引数0> | 説明:列名 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値:空白 |
| <引数1> | 説明:列型 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値 : java.util.Date |

操作

―追加する列の情報(列名)を得て列を追加する❶―――

- 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[ボタン(ID:4)] コンポーネントの上で右クリック- [イベント処理追加]
 [アクションイベント] とクリックします。
- ② イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[ボタン(ID:4)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー [接続コンポーネント選択] –
 [テーブル(ID:2)] コンポーネントをクリックします。

| MS MZ Platform 7711 to Stable Fills | ā | | |
|-------------------------------------|---------------------|---|------------------------|
| Z MZ Fiatiorm アフリケーションCDP | 27 | | |
| フドリケーションの作 | 12 . 102 | | |
| 7,507-932-644 | | | |
| アプリケーション | アプリケーション開始イベント | ガントチャートのデータを設定する | |
| KEY:" | - | Ť | KEY: "ガントチャート3" |
| | | フレームを表示する | 70-4 |
| | | | ID:1 KEY:"フレーム1" |
| ■ フレーム | アクションイベント | アブリケーションを終了する | ■アプリケーション |
| ID:1 KEY:"フレーム1" | | | KEY:" |
| ■ テーブル | データ更新イベント | ガントチャートのデータを設定する | 「 ガントチャート |
| ID:2 KEY:"テーブル2" | | | ID:3 KEY:"ガントチャート3" |
| ガントチャート | データ更新イベント | ティブルディタを設定する | |
| 1D:3 KEY:"ガントチャート?" | • | J J/VJ J Caxley J | ID: 2 KEY: "〒ーブル2" |
| | アクションイベント | | |
| ID:4 //ロソー*作業本型録* | • | | ━ 「 接続コンボーネント選択… |
| | | | 接続コンポーネント選択 ▶ |
| | | J フレーム [ID:1] (KEY."フレーム1") | |
| (REY: "J=Z F J 7 = W F 5" | | ■ J J//(0.2)((C1. J J//2)) ■ ガントチャート IID:31 (KEY"ガントチャート3") | 1 1 1 1 世 5 設定 |
| | | ///////////////////////////////////// | 記動がして |
| | | ■ テキストフィールド [ID:5] (KEY."テキストフィールド5") | 記動メソッドコピー |
| | - | | 起動メソッド貼り付け ・ |
| | | | 起動メソッド切り取り |
| | | | 起動メソッド削除 |
| | | | コメント編集 |
| | | | コメントコピー |
| | | | コメント貼り付け |
| | | | コメント 9054X9 コメント削除 |
| 【アイコン凡例】 🛑 アブリケ | ーション 📄 画面構成部品 🗐 ウィン | ・ドウ <mark>-</mark> ノメニュー バネル 処理部品 複合(画面 | 捕 |
| 実行 | ミ行(設定可) 画面編集 帳票編集 | レード 挿入 保存 上書き保存 / パンパンクロード 「挿入」 保存 (上書き保存) パンパンクロード 「挿入」 保存 (上書き保存) パンパンクロード 「「「」 | フレ ブレークボイント設定/解除 |

- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリック- [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の 2 をクリックします。
 [列を追加する(String, Class)]をクリックします。
 引数0を設定します。
 説明:列名
 取得方法:メソッド戻り値
 コンポーネント:テキストフィールド(ID:5)
 メソッド/値:テキストを取得する
 引数1を設定します。
 - 説明:列型
 - 取得方法:固定值

メソッド/値 : java.util.Date

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| 🌺 起動メソッド情報 | | | | |
|------------|----------|-------------------|-----------------------------------|----------------|
| | メソッド 列を追 | 加する(String,Class) | ▶ □ 全メソッド対象 | |
| 型 | 説明 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 String | 列名 | メソッド戻り値 | テキストフィールド [ID:5] (KEY:"テキストフィールド5 | ") テキストを取得する |
| 1 Class | 列型 | 固定値 | - | java.util.Date |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

──情報(列名)のない列を追加する��───

- ④ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[ボタン(ID:4)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリック-[起動メソッド追加]とクリックします。
 空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック-[接続コンポーネント選択] [テーブル(ID:2)] コンポーネントをクリックします。
- ⑤ 接続したコンポーネントの処理を選びます。

- 取得方法:固定值
- メソッド/値 : 空白
- 引数1を設定します。
 - 説明:列型

取得方法:固定值

メソッド/値:java.util.Date

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| 🛂 起動メソッド情報 | | | | | X |
|------------|---------|---------------------|---------|----------------|-----|
| | メワッド 列れ | ぎ追加する(String,Class) | | 💌 🗌 全メソッド対象 | |
| NO 型 | 説明 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 | 1 |
| 0 String | 列名 | 固定値 | - | | |
| 1 Class | 列型 | 固定値 | - | java.util.Date | |
| | l. | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | Ę | 見じる |

⑥ 確認します。

実行(設定可)で実行します。

[作業者登録] ボタンと入力領域ができます。

| WorkName 神立 | | 石岡 | 高萩 | |
|--|--------------------------|--|--|--|
| 見積り 2007/05/18 8:3 | 0:00 2007/05/19 12:00:00 | 0 | | 作業者登録 |
| 計 | | 2007/05/18 15:00:00 2007/05/25 9:00:00 | | |
|)達 | | | 2007/05/20 9:00:00 2007/05/25 17 | (:00:00 |
| 2007/05/18 0 6 1 見積」 設計 調達 | | 5/20 2007/05/21 2007/05/22 200 6 12 18 0 6 12 18 0 6 12 18 12 18 0 6 12 18 0 6 12 18 | 7/05/23 2007/05/24 2007/05/ 0 6 12 18 0 6 12 18 0 | ● 神立 ● 石岡 ● 高荻 |

⑦ 名前を入力し、[作業者登録]をクリックします。
 テーブルに2列追加されます。



ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| ₩ MZ Platform アブリケーションビルダー | | |
|--|----------------------------------|------------------------------------|
| ファイル アプリケーション オブション ヘルプ | | |
| アプリケーション名称 | | |
| ■ アブリケーション アブリケーション開始4 KEY:*** | ^{イベント} ガントチャートのデータを設定する | ガントチャート ID:3 KEY:"ガントチャート3" |
| | フレームを表示する | ・ フレーム 10:1 KEY. "フレーム1" |
| ■フレーム アクションイベン ID:1 | ト アプリケーションを終了する | |
| レーム1************************************ | ト ガントチャートのデータを設定する | KEY:"" ガントチャート |
| KEY: "テーブル2" ガントチャート データ更新イベン D : 3 | ト テーブルデータを設定する | KEY: "ガントチャート3" 「テーブル ID:2 |
| KEY: "ガントチャート3" ボタン アクションイベン D: 4 | ト列を追加する | KEYT: "テーブル2" |
| KEY:"作業者登録" | 列を追加する | |
| ー テキストフィールド 1D:5 KEY: "テキストフィールド5" | | 【KEY:"テーブル2" |
| | | |
| | | |
| | | |
| 【アイコン凡例】 🛑 アプリケーション ■1画面構成部品 💼 | 〕ウィンドウ ──」メニュー ──」バネル ──」処理部品 (| ■複合(画面構成) 🛑複合(処理) 🛑リモート |
| 実行して実行の設定可して、画面編集の「「 | 帳票編集 ロード 挿入 保存 上書き | 保存 クリア 終了 |

<u>Step.2 テーブルに行を追加</u>

テーブルに WorkName (行)を追加できるボタンを作成しましょう。

完成図 右側に行追加ボタンを作成します。





- 1. ボタンがクリックされたら(押されたら)行を追加したい。
- 2. 行追加ボタン(ここでは[作業項目追加]ボタン)を作成するため[ボタン]コンポーネントを 追加する。
- 3. 作成する行名を取り込むフィールドを用意するため [テキストフィールド] コンポーネントを 追加する。

準備」ここでは以下のコンポーネントを追加します。

| コンポーネント名 | 必要数 | |
|------------|-----|-----------------------------|
| ■ボタン | 1 | [画面構成部品]-[ボタン]-[ボタン] |
| ■テキストフィールド | 1 | [画面構成部品]-[テキスト]-[テキストフィールド] |

操作 行追加ボタン、行名入力フィールドを追加しましょう。

必要なコンポーネントを追加します。

作業領域で右クリックー[コンポーネント追加] - [画面処理部品] - [ボタン] - [ボタン]、 作業領域で右クリック- [コンポーネント追加] - [画面処理部品] - [テキスト] - [テキストフィールド] とクリックし追加します。

| MZ Platform アプリケーシ | ョンビルダー・ | | | | |
|--|-------------|----------------------------|----------|----------|--|
| ファイル アプリケーション | オブション ヘルプ | | | | |
| アプリケーション名称 | | | | | |
| ■ アプリケーション KEY: "" | | リケーション開始イベント | ガントチャートの | データを設定する | ガントチャート 1D:3 KEY:"ガントチャート3" |
| | | L | フレームさ | き表示する | ラレーム 10:1 KEV:"フレーム1" |
| フレーム D:1 | | アクションイベント | アプリケーショ | コンを終了する | |
| KEY: "フレーム1" | | データ更新イベント | ガントチャートの | データを設定する | KEY:"" ゴガントチャート |
| D:2 KEY:"テーブル2" ガントチャート | | データ更新イベント | テーブルデー | タを設定する | ID:3 KEY:"ガントチャート3" 「テーブル |
| KEY: "ガントチャート3" | | アクションイベント | 列を追 | 加する | KEY: "テーブル2" 「テーブル 「テーブル 」 |
| ID:4:*********************************** | | | 列を追 | 加する | KEY: "テーブル2" 「テーブル 」テーブル |
| ■ 「テキストフィールド 1D : 5 KEY : "テキストフィールド5" | | | | | KEY:"テーブル2" |
| ボタン D:6 KEY: "ボタン6" | | | | | |
| ■ テキストフィールド ID:7 KEY:"テキストフィールド?" | | | | | |
| | | | | | |
| [Z/=`_D/60] | マゴリケニション・一番 | | | | (売売結合) (同) (二) (二) (二) |
| (アイコンパルツリ 📕 | アブリクニション 📲 | JLLM体がGPoo ロ リワイノトリ | | | (画画構成) ● (報告(処理) ● リリモート |
| 実行 | テ 実行(設定可) | 画面編集 帳票編集 | ロード 挿入 | 保存 上書き保存 | クリア 終了 |

画面編集

① 画面を作成します。

画面編集をクリックします。

[ボタン] コンポーネント、[テキストフィールド] コンポーネントをフレームに追加します。 閉じるをクリックしてビルダー画面に戻ります。

| コレーム [ID:1] (KEY.*フレーム1*) ガンドチャト [ID:3] (KEY.*プレーム1*) ブンドチャト [ID:3] (KEY.*プレーム1*) デオストラィールド [ID:1] (KEY.*プレース1*) デオストラィールド [ID:1] (KEY.*プーブル2) デオストラィールド [ID:1] (KEY.*プーブーブーブー) ジ2007/05/23 2007/05/24 2007/05/25 ボタン [ID:0] (KEY.**ボボタンド) ジ2007/05/23 2007/05/24 2007/05/25 ボタン [ID:0] (KEY.**ボボタンド) ジ2007/05/23 2007/05/24 2007/05/25 | ₩ 画面編集 | |
|--|---|---|
| カノテキート [U-3] (KET: カノドチキストフ デオストフィールド [U-3] (KEY: デキストフ オタン [D-4] (KEY: デキストフ デオストフィールド [U-7] (KEY: デキストフ オタン [D-6] (KEY: *ボタン*) 22007/05/28 2007/05/24 2007/05/25 17:00:00 22027/05/28 2007/05/24 2007/05/25 17:00:00 (22 2007/05/28 2007/05/24 2007/05/25 17:00:00 (23 2007/05/28 2007/05/24 2007/05/25 17:00:00 (22 2007/05/28 2007/05/28 2007/05/25 17:00:00 (22 2007/05/28 | ■ フレーム [ID:1] (KEY:"フレーム1") | フレーム [D:1] (KEY."フレーム1") |
| | ■ 1フレーム [ID:1] (KEY**フレーム1*) ガントチャ ト 10:3) (KEY*ガントチャート ● テキストフィールド 10:5) (KEY*テキストフ ■ ボタン ID:4) (KEY**チョンル*) ● デーブル ID:2) (KEY**テーブル2) ● デキストフィールド ID:7) (KEY**チャストフ ● ボタン ID:6] (KEY**ボタン*) | フレーム (ID:1) (KEY*フレーム1) 高鉄 月 ジ25 9:00:00 2007/05/20 9:00:00 2007/05/20 9:00:00 2007/05/25 17:00:00 (*ボタン> |
| | | |

③ コンポーネントが追加できたことを確認します。
 実行(設定可)で実行します。



④ [ボタン]の名前を変更します。
 [ボタン] コンポーネントの上で右クリックー [テキスト] をクリックします。
 「<ボタン>」を消して「作業項目追加」と入力します。



⑤ ボタン名が変更されます。



接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

行を追加する

| 接続項目 | 接続関係 |
|---------------------|------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ボタン(ID:6, Key:作業項目追加) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント ❷ | ■テーブル (ID:2) |
| | |
| 起動メソッド | 行を追加する() |

| 接続先コンポーネント ❸ | ■テーブル(ID:2) |
|---------------------|-----------------------------|
| 起動メソッド | セルの値を設定する(Object, int, int) |
| <引数0> | 説明:セルの値 |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テキストフィールド |
| | メソッド/値:テキストを取得する |
| <引数1> | 説明:行の位置 |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テーブル |
| | メソッド/値:最終行の位置を取得する |
| <引数2> | 説明:列の位置 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値:0 |

操作

──行を追加する❶──

使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[ボタン(ID:6)] コンポーネント上で右クリック- [イベント処理追加]
 - [アクションイベント] とクリックします。

② イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[ボタン(ID:6)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー [接続コンポーネント選択] –
 [テーブル(ID:2)] をクリックします。

| MZ Platform アプリケーションビルダー | | | |
|--|-------------------|---------------------------------------|--|
| マテイル アプリケーション オプション | ヽルプ | | |
| プリケーション名称 | | | |
| | アプリケーション開始イベント | | |
| /////////////////////////////////////// | | ガントチャートのデータを設定する | ID:3 |
| <u> </u> | | | KEY: "ガントチャート3" |
| | | フレームを表示する | |
| | | l | КЕY:"フレーム1" |
| 174-4 | アクションイベント | アブリケーションを終了する | アブリケーション |
| 11 EY:"フレーム1" | | | KEY:" |
| テーブル | データ更新イベント | ガントチャートのデータを設定する | ■ガントチャート |
| :2 Y:"テーブル2" | | | ID:3 KEY:"ガントチャート3" |
| | データ更新イベント | | |
| 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | • | テーブルテージを設定する | ID:2 VEV:"=================================== |
| | アクションレイバント | | |
| 4 | | <u>利を追加する</u> | ID:2 |
| Y:"作業者登録" | | | KEY:"テーブル2" |
| | | 列を追加する | |
| | | l | ΚΕΥ [*] :"テーブル2" |
| テキストフィールド | | | |
| 5 Y:"テキストフィールド5" | | | |
| ボタン | アクションイベント | | - 接続コンポーネント選択 |
| :6 Y:"作業項目追加" | | アプリケーション ID:01 (/EV:**) | 接続コンポーネント選択 |
| テキストフィールド | | ■ フレーム [ID:1] (KEY:"フレーム1") | 早動メソッド設定 |
| ·7 ·******* | C | ■ テーブル [ID:2] (KEY."テーブル2") | イベート番号設定 |
| | | ─ ガントチャート [ID:3] (KEY:"ガントチャート3") | 起動モード |
| | | ■ ボタン [ID:4] (KEY:"作業者登録") | 起動メソッド追加 |
| | | ■ テキストフィールド [ID:5] (KEY:"テキストフィールド5") | 起動メソッドコピー |
| 「アイコント例」 = アプリケーショ | ン 一直面面機成部品 (目白マン) | ■ ボタン [ID:6] (KEY:"作業項目追加") | 起動メソッド貼り付け |
| | | デキストフィールド [IU:7] (KEY:"テキストフィールド7") | 起動メソッド切り取り |
| 実行 実行(設 | 定可) 画面編集 帳票編集 | - ロード 挿入 保存 上書き保存 ク! | リー起動メソッド削除 |
| | | | - コメント編集… |
| | | | コメントコピー |
| | | | コメント貼り付け |
| | | | コンフト別の取り コマント間略 |
| | | | |
| | | | 「おかんコンヤーヤント立言団直視 |

③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。

[メソッド]の 🔽 をクリックします。

[行を追加する()]をクリックします。

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | | |
|-------------|----|---------------|-------------|--------|----|
| | | メソッド 行を追加する() | ▶ 🔽 全メソッド対象 | | |
| NO 型 | 説明 | 取得方法 | コンボーネント | メソッド/値 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | 閉 | ೮ನ |

—1列目に WorkName を追加する��-----

- ④ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[ボタン(ID:6)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー [接続コンポーネント選択] –
 [テーブル(ID:2)] をクリックします。
- ⑤ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。

起動メソッド設定画面が表示されます。

起動メソッド(処理)を選びます。

[メソッド]の 🔽 をクリックします。

[セルの値を設定する(Object, int, int)]をクリックします。

引数0を設定します。

説明:セルの値

取得方法:メソッド戻り値

コンポーネント:テキストフィールド(ID:7)

メソッド/値:テキストを取得する

引数1を設定します。

説明 : 行の位置

取得方法 : メソッド戻り値

コンポーネント:テーブル (ID:2)

メソッド/値:最終行の位置を取得する

引数2を設定します。

説明:列の位置

取得方法:固定值

メソッド/値:0

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| 👑 起動メソッド情報 | | | | × |
|------------|--------------|------------------------|----------------------------------|--------------|
| | メソッド セルの | 直を設定する(Object,int,int) | ▶ 🖸 全メソッド対象 | |
| 型 | 記 兑8月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 Object | セルの値 | メソッド戻り値 | テキストフィールド [ID:7] (KEY:"テキストフィールド | 7")テキストを取得する |
| 1 int | 行の位置 | メソッド戻り値 | テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | 最終行の位置を取得する |
| 2 int | 列の位置 | 固定値 | - | 0 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

⑧ 確認します。

実行(設定可)で実行します。

[作業項目追加] ボタンと入力領域ができます。



⑨ 項目名を入力し、[作業項目追加] ボタンをクリックします。テーブルに1行追加されます。



ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| ■ アプリケーション | アプリケーション開始イベント | ガントチャートのデータを設定する | ゴガントチャート |
|-------------------------------|----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| KEY:"" | | T T | ID:3 KEY:"ガントチャート3" |
| | | フレームを表示する | |
| | | | КЕҮ:"Э U-41" |
| | アクションイベント | アブリケーションを終了する | |
| КЕҮ:"フレーム1" | | | KEY:" |
| <u> テーブル</u> D:2 | データ更新イベント | ガントチャートのデータを設定する | <u> ガントチャート ID:3 </u> |
| KEY:"テーブル2" | | | IREY: "ガントチャート3" |
| | テーダ更新イベント | テーブルデータを設定する | |
| KEY: カントチャート3 | マカションイベント | | |
| ■ ホメン ID:4 I/CV·"作業業系録" | | 列を追加する | |
| | , | ていた ご白わった ス | |
| | | ى مەرىكەلىرە مەرىكەلىرە | ID:2 KEY:"テーブル2" |
| □ テキストフィールド | | | |
| ID : 5 KEY : "テキストフィールド5" | | | |
| ボタン | アクションイベント | - 行を追加する | ■ テーブル |
| ID:6 KEY:"作業項目追加" | | | ID:2 KEY:"テーブル2" |
| | | セルの値を設定する | |
| | | | KEY ² :"テーブル2" |
| <u>■ テキストフィールド</u> ID:7 | | | |
| ŘEY : "テキストフィールド7" | | | |

Lesson.15 テーブル機能を拡張しよう

Lesson.6 でご紹介したテーブル機能を拡張してみましょう。

ここではテーブルに行の[追加]ボタンや[削除]ボタンを作成します。また、セルごとに設定できる機能 (選択リストなど)もご紹介します。また実用的な画面編集方法も練習しましょう。

Step.1 階層的な画面編集

これまでの画面編集はフレームに対してすべて同列にコンポーネントを配置していました。ここでは、[パ ネル] コンポーネントを使って階層的な配置を紹介します。

| 4 | | | | | |
|----|------|------|--------|----|----|
| | 追加 | 選択解除 | ↑ ↓ ji | 除 | |
| 品番 | 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

上記のように

1. 複数のボタンをひとまとめに扱いたい

2. ボタンとテーブルを分けて配置したい

という場合に、[パネル] コンポーネントが有効です。

[画面編集]の中で左の領域を使います。

この領域を使って[パネル]コンポーネントの中に階層的に[ボタン]コンポーネントを追加できます。

| 🛂 画面編集 | | | × |
|--------------|--|--|----------|
| 🖃 🗐 フレーム (ID | :1] (KEY:"フレーム1") | パネル [ID:3] (KEY:"パネル3") | |
| | 21 (//////////////////////////////////// | | |
| | コンポーネント追加 | ▶ | |
| | コンボーネントー括追加… | ■ ボタン [D:5] (KEY:"ボタン5") | |
| | 新規コンボーネント追加 | יין לא אין דא אין דע אין ארא אין דא אין דא אין דע אין ארא אין דע אין | |
| | 新規コンポーネントー括追加 | ■ ボタン [ID:7] (KEY"ボタン7") | |
| | コンボーネント挿入 | ■ | |
| | コンポーネント削除 | | |
| | 子コンボーネントー括削除 | | |
| | 属性情趣论定 | | |
| 1. I. | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 配置 模方向整列 🛛 🖌 🗹 自動サイズ設定 グリッド間隔:5 | |
| | | 0 10 20 30 40 50 閉じる | <u>ن</u> |

Step.2 ボタンとテーブルで構成された画面

ボタンとテーブルで構成された画面を作成しましょう。

完成図

____以下のような画面を作りましょう。

| 4 | | | | | |
|----|------|--------|------|----|----|
| | 追加 | 選択解除 1 | | 除 | |
| 品番 | 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

準備 ここでは以下のコンポーネントを使用します。

| コンポーネント名 | 必要数 | |
|---------------------|-----|-------------------------|
| ■アプリケーション | (1) | |
| ■フレーム | 1 | [画面構成部品]-[ウィンドウ]-[フレーム] |
| <mark>■</mark> テーブル | 1 | [画面構成部品]-[テーブル]-[テーブル] |
| <mark>■</mark> パネル | 1 | [画面構成部品]-[パネル]-[パネル] |
| ■ボタン | 5 | [画面構成部品]-[ボタン]-[ボタン] |

操作

必要なコンポーネントを追加します。
 作業領域で右クリック-[コンポーネント追加]-[画面構成部品]-[ウィンドウ]-[フレーム]、
 作業領域で右クリック-[コンポーネント追加]-[画面構成部品]-[テーブル]-[テーブル]、

作業領域で右クリックー[コンポーネント追加] - [画面構成部品] - [パネル] - [パネル]、 とクリックします。 作業領域で右クリック- [コンポーネントー括追加] - [画面構成部品] - [ボタン] - [ボタン] とクリック、ボタンの追加数 [5] と入力します。

(すべてのコンポーネントを一括追加しても構いません)

| └ <mark>─</mark> MZ Platform アブリケーションモルダー | | |
|---|-----|----------|
| ファイル アゴリケーション オゴション ヘルブ | | |
| アプリケーション名称 | | A |
| $ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $ | | |
| | | |
| 「アイコン凡例」 ■アプリケーション 画面構成部品 ■リワインドワ メニュー ■バネル 処理部品 ■「複合(画面構成) ■ 複合(処理) ■リリ・ | E ŀ | |
| 実行 実行録定可 画面編集 幅素編集 ロード 挿入 保存 上書き保存 クリア 終了 | | |

接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

開始

| 項目 | 内容 |
|-----------------|----------------|
| 接続元コンポーネント | |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アプリケーション開始イベント |
| 接続先コンポーネント | ■フレーム (ID:1) |
| 起動メソッド | フレームを表示する() |

終了

| 項目 | 内容 |
|-----------------|-------------------|
| 接続元コンポーネント | |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■ アプリケーション |
| 起動メソッド | アプリケーションを終了する() |

画面編集

画面を作成します。

画面編集をクリックします。

最初の階層として [テーブル] コンポーネントと [パネル] コンポーネントを追加します。

| ₩2 西面編集 | |
|---|---|
| ▲ 画面 雪集 ■ フレーム [ID:1] (KEY.*フレーム1*) ■ テーブル [ID:2] (KEY.*テーブル2*) | フレーム (ID:1] (KEY*フレーム1) コンポーネント・話追加 新規コンポーネントー話追加 コンポーネントー話追加 デオコンポーネントー括測除 爾性情報認定 |
| | 配置 徳方向設列 ♥ 回動サイズ設定 グリッド間隔5 |

② パネルの中にボタンを追加します。

左側の領域の[パネル]の上で右クリックします。 [コンポーネント追加] - [ボタン(ID:4)] とクリックします。

| 💑 画面編集 | |
|--|-------------------------|
| ■ = フレーム [ID:1] (KEY:"フレーム1") | パネル [ID:3] (KEY."パネル3") |
| ・ デーブル ID-20 ムロシンティン (19) ・ アメーボン (10) ・ アメーボン (10) ・ アメーボン (10) ・ アメーボン (10) ・ デル・エントー活動加 ・ 新規コンボーネントー活動加 コンボーネント利除 ・ コンボーネントー活用第 予ロンボーネントー活用第 寄性情報経定 | |

| (確認) | | |
|------|--|--|
| | [パネル] コンポーネン | ~トに [ボタン] コンポーネントが追加されます。 |
| | - <mark> 松</mark> 画面編集 国 司 フレーム [ID:1] (KEY:"フレーム1") | /(ネル10:31:/(ネル3 |
| | □ テーブル [ID:2] (KEY."テーブル2") □ パネル [D:3] (KEY."パネル3") □ ボタン (ID:4] (KEY."ボタン4") | (#9)> |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | 配置 横方向腔列 ✔ ✔ 自動サイズ設定 グリッド間隔:5 0 10 20 30 40 50 |

③ ②の操作を繰り返してボタンを全部追加します。(または一括追加を使っても構いません) コンポーネント追加後は閉じるをクリックします。

| ₩2 画面編集 | X |
|--|---|
| ■ フレーム [ID:1] (KEY:*フレーム1*) ■ ブーガル [D:2] (KEY:*ブーブル2) ■ [7:ボル ID:3] (KEY:*ボラン4*) ■ ボタン [ID:6] (KEY:*ボタン5*) ■ ボタン [ID:6] (KEY:*ボタン5*) ■ ボタン [ID:6] (KEY:*ボタン7*) ■ ボタン [ID:8] (KEY:*ボタン8*) | ♪ 「 ネボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ ボタン> ・ |
| | 記畫 積方向整列 ▼ |

④ 画面編集の完成を確認します。

| 実行(設定可)で実行します。 | |
|----------------|-------------------------------------|
| 4 | |
| | <ボタン> <ボタン> <ボタン> <ボタン> <ボタン> <ボタン> |

⑤ ボタンの名前を変更します。

ボタンの上で右クリックー [テキスト...] とクリックします。

| <u>ا</u> | |
|----------|----------|
| | |
| | |
| | 配置方法 ▶ |
| | テキスト位置 🕨 |
| | アイコン ・ |
| | ニーモニック 🕨 |

⑥ ボタンの名前を入力し適用をクリックします。

| テキストの入力 | | × |
|---------|----------------------|---|
| ? | テキストを入力してください。 追加 | |
| | 適用 取消 | |

⑦ ⑤~⑥の手順で他のボタンも以下のように変更します。

| 4 | |
|---|----------------|
| | 追加 選択解除 ↑ ↓ 削除 |

⑧ [閉じる]をクリックし、ビルダーに戻ります。

ビルダー上の画面を確認します。

[ボタン]の名前を変更したところは[コンポーネント]のKeyが変更されています。 すぐに変更していない場合は、任意の[ボタン]コンポーネントをクリックすると変更されます。

| | ₩ <mark>2</mark> MZ Platform アプリケーションビル | ğ- | | |
|----|---|------------------------|---------------------|--------------------------|
| | ファイル アプリケーション オプシ | ョン ヘルプ | | |
| | アプリケーション名称 | | | |
| | ■ アブリケーション | アプリケーション開始イベント | フレームを表示する | |
| | KEY:" | | | |
| | <u> </u> | アクションイベント | アブリケーションを終了する | <u>■ アプリケーション</u> |
| | KEY:"70-41" | | | KEY:" |
| | テーブル D:2 KFY:"テーブル2" | | | |
| | 「パネル」 | | | |
| | ID:3 KF1-7 m143* | | | |
| | ボタン D:4 (5:4) | | | |
| Λ | | | | |
| | ID:5 KEY:"i键把最ZK会" | | | |
| | 1 # 92 | | | |
| | ID:6 KEY:"↑" | | | |
| | | | | |
| ۱I | KEY:"↓" | | | |
| N | ボタン | | | |
| | KEY""削除" | | | |
| | \smile | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | 【アイコン凡例】 🛑 アプリク | アーション 📑 画面構成部品 🗐 ウィンドウ | ▋メニュー ■バネル ■処理部品 ■雑 | (合)画面構成) 🛑 複合(処理) 🛑 リモート |
| | 実行 | 実行(設定可) 画面編集 帳票編集 | ロード 挿入 保存 上書き保存 | クリア 終了 |

⑨ 画面構成を変更します。

画面編集をクリックします。

配置を[手動配置]に変更し、以下のように配置を変更します。 画面ができたら閉じるをクリックし戻ります。

| ■ フレーム [ID:1] (KEY:"フレーム1") ■ テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | フレーム[[D:1] : フレーム1 |
|--|--|
| 「ホネル (D-3) (KEY*) (ネル3*) ボタン (D-4) (KEY*) (おかの) ボタン (D-6) (KEY*) (おかみ部*) ボタン (D-6) (KEY*1*) ボタン (D-7) (KEY*1*) ボタン (D-8) (KEY*1*) | |
| | |
| | |
| | 配置 手動配置 ▼ ▼ ■ 動サイズ設定 グリッド間隔-5 0 10 20 30 40 50 |

⑩ 画面の確認をします。

実行(設定可)で実行してみます。

| 👙 | |
|----------------|--|
| 追加 選択解除 ↑ ↓ 削除 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

実行(設定可)の画面上で右クリックします。

[テーブル] - [列] - [追加] - [複数列] - [文字列] とクリックします。

| 4 | | | | (| | |
|-------|-------------|---|----------|------|--------|---|
| 追加 |] 選択解除 | | ↑ ↓ | 削除 | | |
| テーブル・ | テーブル作成 行 | • | | | | |
| | 列 | ► | 追加 🕨 | →列・ | | |
| | サイズ | • | 全削除 | 複数列♪ | 文字列… | |
| | フォント | 2 | 列選択モード ▶ | | 整数 | |
| | 編集可否 | • | | | 実数 | |
| | 行高 | | | | 日付 | |
| | 列幅 | | | | 論理 | |
| | 前景色 | • | | | データ型指注 | 定 |
| | 背景色 | • | | | | |
| | 選択時の色 | • | | | | |
| | 選択方法 | • | | | | |
| | グリッド線 | • | | | | |
| | グリッド色 | | | | | |
| | 行ヘッダ | • | | | | |
| | 列ヘッダ | • | | | | |

12 「6」と入力し [適用] をクリックします。



13 列名を変更します。

1 つめの列名の上で右クリックします。 [列] - [列名] とクリックします。

| \$ | | |
|----------|----------------|-----------|
| j. | 自加 選択解除 | ↑ ↓ 肖邶 |
| ۶۱ • | 追加 | • |
| テーブル 🕨 | 削除 | |
| | 王H1000 列名 | \supset |
| | 列幅 | |
| | 列選択モード 編集可否 | • • |
| | フォント 前景色 | • |
| | 背景色 配罢方注 | → > |
| | ソート | |
| | 表示属性(文字列) | |

⑭ 列名を入力し適用をクリックします。



15 13~個の操作を繰り返し他の列名も入力します。

| 4 | |
|----|------------------------|
| | 追加 選択解除 ↑ ↓ 削除 |
| 品番 | 工程種別 開始日時 終了日時 数量 検査書類 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

16 列幅を調整します。

列と列の間にマウスポインタを合わせ、左右にドラッグします。

| ≜ r | |
|---------------------|------|
| 追加 選択解除 ↑ ↓ 削除 | |
| 品番 工程種別 開始日時 終日時 数量 | 検査書類 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

① 以下のように調整してみましょう。

| 4 | | |
|----|-------------------|------|
| | 追加 選択解除 ↑ ↓ 削除 | |
| 品番 | 工程種別 開始日時 終了日時 数量 | 検査書類 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| MZ Platform アプリ | ケーションビルダー | | | | | | | X |
|--|---------------|-----------------|---------------------------|-----------|------------|---------------------|-------|---|
| ファイル アプリケーシ | /ヨン オブション ヘルコ | Ĵ | | | | | | |
| アブリケーション名称 | | | | | | 1 | | * |
| ■ アプリケーション | | アプリケーション開始イベント | עכ | - ムを表示する | | レーム | | |
| KEY:"" 「フレーム | | アクションイベント | アプリケ・ | ーション友終了する | | :"フレーム1" プリケーション | | |
| ID:1 KEY:"フレーム1" | | | | <u> </u> | KEY | | | |
| ■ テーブル ID:2 KEY:"テーブル2" | | | | | | | | |
| ■パネル 10:3 | | | | | | | | |
| (KEY : "ハネル3" 「ボタン 「D: 4 | | | | | | | | |
| KEY:"追加" | | | | | | | | |
| ホタン D:5 KEY:"選択解除" | | | | | | | | |
| ■ ボタン ID:6 | | | | | | | | |
| (KEY:"1" 「ボタン | | | | | | | | |
| ID:7 KEY:"↓" | | | | | | | | |
| ■ ボタン ID:8 KEY:"削除" |] | | | | | | | |
| (Carl - H 1949 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| [アイコン凡例] | 🗐 アプリケーション | ■「画面構成部品 ■」ウィンド | ウ <mark>=</mark> メニュー =)バ | ネル 🛑処理部品 | ━️複合(画面構成) | ■複合(処理) | ●リモート | |
| | 実行 実行(設定可) | 画面編集 帳票編集 | ロード 挿入 | 保存上書 | き保存 クリア | 終了 | | |

<u>Step.3 データの型</u>

各列は入力するデータに合わせた「型」を設定します。 「型」によって使用できる機能が異なります。



- ① 実行(設定可)で実行します。
- ② 列名の上で右クリックします。
 「開始日時」の上で右クリックー [列] [列型] [日付] とクリックします。

| 4 | | |
|---|--------------------------------------|---|
| 這加 選択解除 ↑ | ↓ 削除 | |
| <u>品番 工程種別 開始日時</u> <u>列</u> → テーブル → | <u>级マロ時</u> 追加 削除 全削除 列名 | 検査書類 |
| | 列型 ▶ 列幅 列曜現モード ▶ | ◆文字列 整数 #################################### |
| | 編集可否 フォント | 日付論理 |
| | 前景色 ▶ 背景色 ▶ 配置方法 ▶ | データ型指定 |
| | ソート ・ 表示属性(文字列)・ | |

③ ②と同じ操作で

[終了日時]を[日付]型、[数量]を[整数]型、[検査]を[論理]型にそれぞれ変更します。

④ 行を追加します。

テーブルの上で右クリックー [テーブル] - [行] - [追加] - [一行] とクリックします。

| 4 0 | | |
|------------|---------|--------------|
| 追加 | 選択解除 | ↑ ↓ 削除 |
| 品番 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 数量 検査書類 |
| テーブル ▶ | テーブル作成… | |
| | 行 | ▶ 追加 ▶ 一行 |
| | 列 | ▶ 全削除 接数行… |
| | サイズ | ▶ 行選択モード ▶ |
| | フォント | • |
| | 編集可否 | • |
| | 行高 | |
| | 列幅 | |
| | 前景色 | • |
| | 背景色 | • |
| | 選択時の色 | • |
| | 選択方法 | • |
| | グリッド線 | • |
| | グリッド色 | |
| | 行ヘッダ | • |
| | 列ヘッダ | • |

| $\left(\right)$ | 確認 | \sum |
|------------------|----|--------|
| | | |

|) | 行が | 1 | 行追加 | さ | れ | ま | す | • |
|---|----|---|-----|---|---|---|---|---|
|---|----|---|-----|---|---|---|---|---|

| 4 | | | | | |
|----|------|--------|------------|----|------|
| | 追加 | 選択解除 1 | lij ↓ [ij] | 除 | |
| 品番 | 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査書類 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

<u>Step.4 列ごとの機能</u>

列ごとに割り当てられる機能があります。

| 機能名 | 状態 | 備考 |
|-------|---------------------------------|----------|
| 選択リスト | <u>工程種別</u> 切削 旋削 表面処理 | |
| 表示文字列 | 検査書類 | 列を論理型にする |

操作

「工程種別」に「選択リスト」、「検査」に「表示文字列」を設定します。

① 「工程種別」に選択リストを設定します。

実行(設定可)で実行します。

「工程種別」の列名の上で右クリックします。

[列] - [表示属性(文字列)] - [選択リスト] - [表示する] とクリックします。

| ģ. | | |
|----|--|--|
| 追加 | 選択解除 1 | 〕↓ |
| 品番 | BHAL Disk 追加 削除 全前除 列名 列型 列幅 列運 列電 フォント 前景色 背景置方 いート | *** 了日時 数量 検査書類 · · · · · · |
| | 表示属性(文字列 | パターン文字列 最大入力可能文字数 エラーダイアログ 選択リスト 表示す |

上のテキストボックスに項目データを入力し、[追加]をクリックします。

| 選択リストの項目を編集してください。 | |
|--------------------|------------|
| | 追加 |
| | 11 31-35 |
| | |
| | |
| | 上移動 下移動 |
| 適用 取消 | |

 ②の処理を繰り返して以下のように項目を入力します。 適用をクリックします。

| 選択リストの項目を編集してください。 | X |
|--------------------|------------|
| 切削 旋削 表面処理 | 道加 削除 |
| 適用 取消 | 上移動 下移動 |

④ セル上でクリックすると次のように完成します。

| 4 | | | | | |
|----|-----------------------|--------|--------|----|------|
| | 追加 | 選択解除 1 | i ↓ [i | 除 | |
| 品番 | | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査書類 |
| | ₩ 切削 旋削 表面処理 | | | | |

<u>Step.5 選択解除</u>

[選択解除] ボタンを設定します。選択した行を解除する設定をします。

1)選択モード

テーブルコンポーネント上では、選択する方法が3種類あります。 ここでは「行選択」ができるように設定しておきます。

| 選択方法 | 説明 |
|------|--------------------|
| 行選択 | 1箇所クリックすると1行選択できます |
| 列選択 | 1箇所クリックすると1列選択できます |
| セル選択 | セル単位で選択します |

操作

「単一行選択」の設定をしましょう。

① テーブルの上で右クリックー [テーブル] - [選択方法] - [行選択] をクリックします。

| 4 | | | |
|---------------|---|--|---------|
| 追加 | 選択解除 ↑ | ↓ 削除 | |
| 品番 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 検査書類 |
| <u>テ</u> ーブル・ | テーブル作成 行 列 サイズ フォント 編高 列幅 前景色 背景色 選択方法 グリッド線 グリッド絶 行ヘッダ 列ヘッダ | 行選択 夕川選択 ・セル選択 | |

| $\left(\right)$ | 確認 | \sum |
|------------------|----|--------|
| | | |

行単位で選択できるようになります。

2) 選択解除の設定

選択した行を解除する設定をします。

| 完成図 以下のように完成しま | ましょう。 |
|--------------------------|---------------------------|
| 4 | |
| 道加」選択解除 | |
| 品番 工程種別 開始日時 | 終了日時 数量 検査書類 |
| \land | |
| Σ | |
| | 品番 工程種別 開始日時 終了日時 数量 検査書業 |
| | |

考え方

- 1. 任意の行をクリックし行選択状態にする
- 2. [選択解除] ボタンをクリックすると選択が解除される

接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

[選択解除] ボタンをクリックしたら行の選択が解除される

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|----------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ボタン(ID:5, Key:選択解除) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
| | |
| 起動メソッド | clearSelection() |

操作 [選択解除] ボタンをクリックしたら選択解除できるように設定しましょう。

- 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[(選択解除) ボタン(ID:5)] コンポーネント上で
 右クリックー[イベント処理追加] [アクションイベント] とクリックします。
 [アクション] イベントが発生します。
- 2 イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(選択解除) ボタン(ID:5)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー[起動メソッド追加]とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー[接続コンポーネント選択] –
 [テーブル(ID:2)] をクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 日本語化されていないメソッドなので [全メソッド対象]をチェックします。
 [メソッド]の 2 をクリックします。
 [clearSelection()]をクリックします。
 設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | 🞽 🛛 🕹 |
|-----------------|--|------------------------------|
| メゾッド NO 型 説明 | clearSelection() addVetoableChangeListener(VetoableChangeListener) applyComponentOrientation(ComponentOrientation) areFocusTraversalKeysSet(int) bounds() checkImage(Image,Int,ImageObserver) clearSelection() computeVisibleRect(Rectangle) contains(Point) contains(Int,Int) contains(Int,Int) | ビ 全メソッド対象 メソッド/値 閉じる |

④ 設定できたことを確認します。

実行(設定可)で実行します。

セルをクリックします。青色に反転したら [選択解除] ボタンをクリックします。

ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| MZ Platform アプリケーションビル | <i>ğ</i> — | | |
|-----------------------------------|------------------------|--------------------------------------|--|
| ファイル アプリケーション オプシ | ョン ヘルプ | | |
| アプリケーション名称 | | | e e 🛋 😤 |
| アプリケーション | アプリケーション開始イベント | フレームを表示する | |
| | アクションイベント | アプリケーションを終了する | REY: フレーム1* アプリケーション |
| KEY:"フレーム1"] テーブル | | | KEY:" |
| D:2 KEY:"テーブル2" 「バネル | | | |
| 10:3 KEY:"パネル3" | | | |
| <u> ボタン</u> D:4 KEY:"追加" | | | |
| ■ ボタン ID:5 KEY:"選択解解除" | アクションイベント | clearSelection | |
| ■ ボタン ID: 6 | | | |
| REY: 1 - | | | |
| KEY:"↓" ボタン | | | |
| ID:8 KEY:"削除" | | | |
| | | | |
| | | | |
| [アイコン凡例] 🛑 アプリ! | アーション 📑 画面構成部品 🗐 ウィンドウ | ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━ | §合(画面構成) ■ 複合(処理) <mark>●</mark> リモート |
| 実行 | 実行(設定可) 画面編集 帳票編集 | ロード 挿入 保存 上書き保存 | クリア 終了 |

<u>Step.6 行を追加する</u>

[追加] ボタンを設定します。[追加] ボタンをクリックしたら1行追加するようにします。

| 完成図 | 」 以下のように完成しましょう。 |
|-----|------------------|
| | |

| 4 | | | | | | | | |
|----|------|----------|-----|------|-------|--------|----|------|
| | 追加 | 選択解除↓↑ | | 削除 | | | | |
| 品番 | 工程種別 | 開始日時 | 終了日 | 時数 | 量検査書類 | | | |
| | | | | | | | | |
| | | \frown | ٨ | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | 追加 | 選択解除 | ↑↓↓│削除 | | |
| | | | 品番 | 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査書類 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

考え方

- 1. [追加] ボタンをクリックする
- 2. 表の最下行に1行追加される

接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

[追加] ボタンをクリックしたら表の最下行(最後尾)に1行追加される

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|--------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ボタン(ID:4, Key:追加) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
| | |
| 起動メソッド | 行を追加する() |



- 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[(追加)ボタン(ID:4)] コンポーネント上で
 右クリックー[イベント処理追加] [アクションイベント] とクリックします。
- ② イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(追加) ボタン(ID:4)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー[接続コンポーネント選択] –
 [テーブル(ID:2)] をクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の をクリックします。
 [行を追加する()]をクリックし閉じるをクリックします。

| 🛃 起動メソッド情報 | | | | | × |
|------------|--------------|---------------|-------------|--------|---|
| | | メソッド 行を追加する() | ▶ 💽 全メソッド対象 | | |
| NO 型 | 見日月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | _ |
| | | | | 開じる | |

④ 設定できたことを確認します。

実行(設定可)で実行します。

任意のセルをクリックします。

[追加] ボタンをクリックします。1行追加されることを確認します。

| 4 | | | | | |
|----|------|------|-------|----|------|
| | 追加 | 選択解除 | ↑ ↓ Ä | 除 | |
| 品番 | 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査書類 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| MZ Platform アプリケーションビル・ | 夕一 | | |
|-----------------------------------|------------------------|-----------------------|------------------------------|
| ファイル アブリケーション オブシ | ョン ヘルプ | | |
| アプリケーション名称 | | | |
| アプリケーション | アプリケーション開始イベント | フレームを表示する | |
| KEY:"" | • | | КЕҮ:"フレーム1" |
| <u>■フレーム</u> ID:1 | アクションイベント | アブリケーションを終了する | ■ アプリケーション |
| | | | KEY:"" |
| D:2 KEY:"テーブル2" | | | |
| | | | |
| ID:3 KEY:"パネル3" | | | |
| ■ ボタン ID:4 | アクションイベント | 行を追加する | <u> 「 テーブル</u> 」D:2 |
| KEY:"追加" | | | KEY:"テーブル2" |
| ■ ホタノ ID:5 KEY:"選択解除" | PD9904ADF | clearSelection | D:2 ID:2 KEY:"テーブル2" |
| ボタン | | | |
| ID:6 KEY:"↑" | | | |
| | | | |
| KEY:"↓" | | | |
| <u> ホタン</u> D:8 KEY:"削除" | | | |
| <u>(==::)</u> | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| [アイコン凡例] 🛑 アブリク | 「ーション 📄 画面構成部品 📄 ウィンドウ | 🧾 メニュー 🗐 パネル 🗐 処理部品 🗐 | 複合(画面構成) 🛑 複合(処理) 🛑 リモート |
| 実行 | 実行(設定可) 画面編集 帳票編集 | ロード 挿入 保存 上書き保? | 存 クリア 終了 |

<u>Step.7 サブルーチン</u>

1つのイベント処理で複数のメソッドを起動している場合、それらのメソッドを「サブルーチン」として まとめておくと、他のイベント処理で再利用するときなどに便利です。



サブルーチン化していない場合:GUI部品AとGUI部品BでGUI部品①~③の処理をしている これをそれぞれに記述しているためわかりづらい





サブルーチン化している場合:GUI部品①~③の処理をまとめてサブルーチンとすると、 同じ処理の繰り返しをスッキリ記述できる



Step.8 ボタンの有効化・無効化

テーブル内の行が選択されているときだけ [選択解除] [↑] [↓] [削除] のそれぞれのボタンが有効にな るように設定しましょう。

処理が繰り返しになるので、サブルーチン化してスッキリ記述しましょう。

完成図

山口下のように完成しましょう。

| \$ | |
|------------|---|
| 追加 選択解除 | t ↓ ÄIBA |
| 品番工程種別開始日時 | |
| | |
| | 品番 工程種別 前加口時 統了日時 数量 検査書類 |
| | |
| | |

考え方

- 1. いずれかのテーブルの行が選択されたらボタンを有効にする
- 2. [選択解除] ボタンをクリックしたらボタンを無効にする

準 備

ここでは以下のコンポーネントを使用します。

| コンポーネント名 | 必要数 | |
|----------|-----|--------------------------|
| ■サブルーチン | 2 | [処理部品]-[サブルーチン]-[サブルーチン] |

操作

必要なコンポーネントを追加します。
 作業領域で右クリックー[コンポーネントー括追加]をクリックします。
 [処理部品] - [サブルーチン] - [サブルーチン] コンポーネントを2つ追加します。



② 追加した [サブルーチン] コンポーネントに名前を付けます。
 1つめの [サブルーチン] コンポーネントの上で右クリックー [属性情報設定] をクリックします。
 「ComponentKey」に「ボタン無効化」と入力します。

| M2コンボーネント属性情報 | | | | |
|-----------------------|----------------|------|--|--|
| ComponentKey | ボタン無効化 | | | |
| ComponentID | | | | |
| ComponentPublicName | | NULL | | |
| AllowRemoteInvocation | 🔿 true 💿 false | | | |
| AllowPullTransfer | ◯ true ⊙ false | | | |
| AllowPushTransfer | 🔿 true 💿 false | | | |
| ComponentKeys | 日本語: 英語: | | | |
| 設定 | | | | |

③ 2つめの [サブルーチン] コンポーネントの上で右クリックー [属性情報設定] をクリックします。
 「ComponentKey」に「ボタン有効化」と入力します。

| M2コンボーネント属性情報 | | | | |
|-----------------------|-------------------------|--|--|--|
| ComponentKey | ボタン有効化 | | | |
| ComponentID | 40 | | | |
| ComponentPublicName | ✓ NULL | | | |
| AllowRemoteInvocation | 🔿 true 💿 false | | | |
| AllowPullTransfer | 🔿 true 💿 false | | | |
| AllowPushTransfer | 🔿 true 💿 false | | | |
| ComponentKeys | 日本語: 英語: □ NULL | | | |
| 設定 | | | | |

接続確認

___コンポーネント同士の接続を確認します。

ボタンを無効化する

| 接続項目 | 接続関係 |
|---------------------|---------------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■サブルーチン(ID:9, Key:ボタン無効化) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■ボタン(ID:5, Key:選択解除) |
| | |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値 : false |
| 接続先コンポーネント ❷ | <mark>ニ</mark> ボタン(ID∶6, Key∶↑) |
| | |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値 : false |
| 接続先コンポーネント | <mark>■</mark> ボタン(ID:7, Key:↓) |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値 : false |
| 接続先コンポーネント | ■ボタン(ID:8, Key:削除) |
| | |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値 : false |

ボタンを有効化する

| 接続項目 | 接続関係 |
|---------------------|---------------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■サブルーチン(ID:10, Key:ボタン有効化) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■ボタン(ID:5, Key:選択解除) |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値:true |
| 接続先コンポーネント ❷ | <mark>■</mark> ボタン(ID:6, Key:↑) |
| | |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値:true |
| 接続先コンポーネント | ■ボタン(ID:7, Key:↓) |
| | |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値:true |
| 接続先コンポーネント④ | ■ボタン(ID:8, Key:削除) |
| | |
| 起動メソッド | ボタン押下可否を設定する(boolean) |
| <引数> | 説明:ボタン押下可否 |
| | 取得方法:固定值 |
| | メソッド/値:true |

[選択解除] ボタンがクリックされたら [ボタン無効化] サブルーチンを呼び出す

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|---------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ボタン(ID:5, Key:選択解除) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■サブルーチン(ID:9, Key:ボタン無効化) |
| | |
| 起動メソッド | 処理を呼び出す() |

行が選択されたら [ボタン有効化] サブルーチンを呼び出す

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|----------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | データ選択イベント |
| 接続先コンポーネント | ■サブルーチン(ID:10, Key:ボタン有効化) |
| | |
| 起動メソッド | 処理を呼び出す() |

アプリケーションが開始したら行の選択を解除してボタンを無効化する

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|----------------------|
| 接続元コンポーネント | ■アプリケーション |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アプリケーション開始イベント |
| 接続先コンポーネント | ■ボタン(ID:5, Key:選択解除) |
| | |
| 起動メソッド | doClick() |

操作 サブルーチンの「処理を呼び出す()」が実行されたらボタンが「有効化/無効化」するように 設定しましょう。

---ボタンを無効化する-----

- 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。 サブルーチンの処理を作成します。
 左側の[(ボタン無効化) サブルーチン(ID:9)]の上で右クリックー[イベント処理追加] - [アクションイベント] とクリックします。
- 2 イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(ボタン無効化) サブルーチン(ID:9)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー [接続コンポーネント選択] –
 「(選択解除) ボタン(ID:5)] コンポーネントをクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の をクリックします。
 [ボタン押下可否を設定する(boolean)]をクリックします。
 引数を設定します。
 説明:ボタン押下可否

取得方法:固定值

メソッド/値:false

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | |
|-------------|---------------|----------------------|----------------------|--------|
| | עא | 'ッド ボタン押下可否を設 | 定する(boolean💌 🗌 全メソッド | 対象 |
| NO 型 | 見日月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| Oboolean | ボタン押下可否 | 固定値 | - | false |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 開しる |

 ④ ②~③の処理をさらに3回繰り返し、[↑]ボタン、[↓]ボタン、[削除]ボタンのそれぞれを 設定します。

---ボタンを有効化する-----

- ⑤ 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。 サブルーチンの処理を作成します。
 左側の[(ボタン有効化) サブルーチン(ID:10)]の上で右クリックー[イベント処理追加]
 - [アクションイベント] とクリックします。
- ⑥ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(ボタン有効化) サブルーチン(ID:10)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー[接続コンポーネント選択] –
 [(選択解除) ボタン(ID:5)] コンポーネントをクリックします。

⑦ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド (処理)を選びます。
 [メソッド]の を クリックします。
 [ボタン押下可否を設定する (boolean)]をクリックします。
 引数を設定します。
 説明:ボタン押下可否
 取得方法:固定値

メソッド/値:true

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | |
|-------------|---------|----------------------|----------------------|--------|
| | עא | リッド ボタン押下可否を設 | 定する(boolean💌 🗌 全メソッド | 対象 |
| NO 型 | II兑8月 | 取得方法 | コンボーネント | メソッド/値 |
| 0 boolean | ボタン押下可否 | 固定値 | - | true |
| | | | · | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

- ⑧ ⑥~⑦の処理をさらに3回繰り返し、[↑]ボタン、[↓]ボタン、[削除]ボタンのそれぞれを 設定します。
- ―― [選択解除] ボタンがクリックされたら [ボタン無効化] サブルーチンを呼び出す――
- ④ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(選択解除) ボタン(ID:5)] コンポーネントの[アクションイベント]上で
 右クリック-[起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック-[接続コンポーネント選択]
 「(ボタン無効化) サブルーチン(ID:9)] コンポーネントをクリックします。
- (1) 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の
 をクリックします。
 [処理を呼び出す()]をクリックします。
 設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | | |
|-------------|--------------|----------------|-------------|--------|-------|
| | | メソッド 処理を呼び出す() | ▶ 💽 全メソッド対象 | | |
| NO 型 | 見日月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | BI" Z |
| | | | | | माण्य |

---テーブルがクリックされたら [ボタン有効化] サブルーチンを呼び出す-----

① 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 [テーブル(ID:2)]の処理を作成します。
 左側の[テーブル(ID:2)]の上で右クリック- [イベント処理追加] - [データ選択イベント]
 とクリックします。

① イベントの接続先コンポーネントを選びます。

左側の[テーブル(ID:2)] コンポーネントの[データ選択イベント]上で右クリック - [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック- [接続コンポーネント選択] -[(ボタン有効化) サブルーチン(ID:10)] コンポーネントをクリックします。

③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の
 をクリックします。

[処理を呼び出す()]をクリックします。 設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | | × |
|-------------|--------|----------------|-------------|--------|---|
| | | メソッド 処理を呼び出す() | 💌 🗌 全メソッド対象 | | |
| NO 型 | ii 見日月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | 開じ | 3 |

―アプリケーションが開始したら行の選択を解除してボタンを無効化する――

| 14 | イベントの接続先コンポーネントを選びます。 |
|----|---|
| | 左側の [アプリケーション] コンポーネントの [アプリケーション開始イベント] 上で |
| | 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。 |
| | 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。 |
| | 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー[接続コンポーネント選択]- |
| | [(選択解除) ボタン]コンポーネントをクリックします。 |

| ₩2 起動メソッド情報 | | | 🔀 |
|-------------|------|--|---------------------|
| NO THE INFO | メソッド | deliverEvent(Event) createVolatileImage(int,int,ImageCapabilities) deliverEvent(Event) disable() disable() doCltck(int) doClayout() enable() enable(boolean) enable(boolean) enable(boolean) | ✓ 全メソッド対象 メソッド/値 |
| | | equals(Object) | |

16 設定できたことを確認します。

実行(設定可)で実行します。

任意の行を選択しボタンが有効になることを確認します。

[(選択解除) ボタン]をクリックしてボタンが無効になることを確認します。

ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| ■ アプリケーション | アプリケーション開始イベント | フレームを表示する | ■ フレーム |
|-----------------------|----------------|----------------|-------------------------|
| KEY : "" | | | ID:1 KEY:"フレーム1" |
| | | doClick | ボタン |
| | | | ID:5 KEY:"選択解除" |
| <u>■フレーム</u> | アクションイベント | アプリケーションを終了する | ■ アブリケーション |
| ID:1 КЕҮ:"フレーム1" | • | | |
| <u>■</u> テーブル | データ選択イベント | 処理を呼び出す | リ サブルーチン |
| ID:2 KEY:"テーブル2" | • | | ID:10 KEY:"ボタン有効化" |
| パネル | | | |
| KEY:"パネル3" | | | |
| ボタン | アクションイベント | 行を追加する | <u> </u> |
| KEY?:"追加" | | | KEY:"テーブル2" |
| ■ ボタン ID:5 | アクションイベント | clearSelection | <u> 「 テーブル</u> 」 D:2 |
| KEY:"選択解除" | | | ŘEÝ:"テーブル2" |
| | | 処理 を呼び出す | <u> 「サブルーチン</u> ID:9 |
| | | | KEY:"ボタン無効化" |
| ホタノ D:6 | | | |
| (KEY:"↑" | | | |
| D:7 | | | |
| (KEY:"↓" | | | |
| | | | |
| | アクションイベント | | |
| ID:9 KEY:"ボタン無効化" | P | ホタノ押ト可省を設定する | |
| | | ギカン・地下す不太認定する。 | |
| | | | ID:6 KEY:"↑" |
| | | ボタン押下可否を設定する | |
| | | | ID:7 KEY:"↓" |
| | | ボタン押下可否を設定する | 「 ボタン |
| | | | ID:8 KEY:"削除" |
| <u> </u> | アクションイベント | ボタン押下可否を設定する | ゴボタン |
| ID:10 KEY:"ボタン有効化" | | | ID:5 KEY:"選択解除" |
| | | ボタン押下可否を設定する | 「 ボタン |
| | | | |
| | | ボタン押下可否を設定する | 「ボタン」 |
| | | | KEY:"↓" |
| | | ボタン押下可否を設定する | |
| | | | |

<u>Step.9 行を削除する</u>

[削除] ボタンを設定します。[削除] ボタンをクリックしたら選択されている行を1行削除するようにします。

完成図

_____以下のように完成しましょう。

| 4 | | | | | |
|--|-----------------------------|--------------------|---------------------|----|------|
| 追加」」選択解除 | ↓ 削除 | | | | |
| 品番 工程種別 開始日時 MZ001_AA1 切削 2006/02/01 9:00:00 | 終了日時 2006/02/01 19:00:00 | 数量 検査書類 5 ✓ | | | |
| | | | | | |
| 2 | j. | 追加 選択解除 | ↑ ↓ 削除 | | |
| | 品番 工程種 | 動 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査書類 |
| | MZ001_AA1 切削 | 2006/02/01 9:00:00 | 2006/02/01 19:00:00 | 5 | |
| | | | | | |
| | | | | | |

1. 不要な行を選択する

考え方

- 2. [削除] ボタンをクリックする
- 3. 選択した行が削除される

接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

1行削除する

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|----------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ボタン(ID:8, Key:削除) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生イベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
| | |
| 起動メソッド | 特定行を削除する(int) |
| <引数> | 説明:削除対象行の位置 |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント : テーブル(ID:2) |
| | メソッド/値:選択行の位置を取得する |

選択を解除する2

| 接続先コンポーネント❷ | ■ボタン(ID:5, Key:選択解除) |
|-------------|----------------------|
| 起動メソッド | doClick() |

操作

[(削除) ボタン]をクリックしたら選択されている1行が削除されるようにしましょう。

──1行削除する❶───

- ① 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[(削除) ボタン(ID:8)] コンポーネントの上で右クリック- [イベント処理追加]
 [アクションイベント] とクリックします。
- 2 イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(削除) ボタン(ID:8)] コンポーネントの[アクションイベントイベント]上で
 右クリック-[起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック-[接続コンポーネント選択] [テーブル(ID:2)] コンポーネントをクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 - 接続したコンポーネントの上で右クリック- [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の
 をクリックします。
 [特定行を削除する(int)]をクリックします。
 引数を設定します。
 説明:削除対象行の位置
 取得方法:メソッド戻り値
 - コンポーネント:テーブル

メソッド/値:選択行の位置を取得する

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | × |
|-------------|-----------|-----------|---------------------------|-------------|
| | メソッド 特定行を | 削除する(int) | ▼ □全メソ | ッド対象 |
| NO 型 | 説明 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 int | 削除対象行の位置 | メソッド戻り値 | テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | 選択行の位置を取得する |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

─選択を解除する2───

- ④ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(削除) ボタン(ID:8)] コンポーネントの[アクションイベントイベント]上で
 右クリック-[起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック-[接続コンポーネント選択] [(選択解除) ボタン(ID:5)] コンポーネントをクリックします。
- ⑤ 接続したコンポーネントの処理を選びます。

接続したコンポーネントの上で右クリック- [起動メソッド設定...]をクリックします。
起動メソッド設定画面が表示されます。
起動メソッド(処理)を選びます。
日本語化されていないメソッドなので、[全メソッド対象]をチェックします。
[メソッド]の をクリックします。

[doClick()] をクリックします。

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| メリッド 🛛 🗸 全メリッド対象 | |
|---|-----|
| NO型 i規明 createVolatileImage(int,int,ImageCapabilities) deliverEvent(Event) disable() doClick(int) doClick(int) doClick(int) doClick(int) doLayout() enable(Doolean) enable(Doolean) enable(Doolean) | 開じる |

⑥ 設定できたことを確認します。

実行(設定可)で実行します。

任意の行を選択し、[削除]ボタンをクリックしたら行が削除されることを確認します。

ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| ■ アプリケーション | アプリケーション開始イベント | フレームを表示する | ■ フレーム |
|---|----------------|----------------|-------------------------|
| KEY : "" | | | 1D:1 KEY:"フレーム1" |
| | | doClick | ボタン |
| | | | ID:5 KEY:"選択解除" |
| 70-4 | アクションイベント | アプリケーションを終了する | ■ アプリケーション |
| ID:1 КЕҮ:"フレーム1" | | | KEY:" |
| 「テーブル | データ選択イベント | 処理を呼び出す | <u> </u> |
| ID. 2 KEY:"テーブル2" | | | LU:10 KEY:"ボタン有効化" |
| 「 」パネル | | | |
| KEY:"パネル3" | | | |
| 「 」ボタン ID:4 | アクションイベント | 行を追加する | <u>「テーブル</u> ID:2 |
| KĒY:"追加" | | | <u> (花EY:"テーブル2"</u> |
| <u>■ボタン</u> ID:5 | | clearSelection | |
| KEY:"選択解除" | | | KEY:"テーブル2" |
| | | 処理を呼び出す | |
| | | | (KEY:"ボタン無効化") |
| <u> 一本タノ</u> ID:6 | | | |
| (KEY:" " | | | |
| ID:7 | | | |
| | アクションイベント | <u> </u> | |
| ID:8 KEY:"削除" | | 付進行で削除する | ID:2 KEY:"テーブル2" |
| <u>(- </u> | | doClick | |
| | | donek | ID:5 KEY:"選択解除" |
| (サブルーチン | アクションイベント | ボタン押下可否を設定する | |
| ID:9 KEY:"ボタン無効化" | | | ID:5 KEY:"選択解除" |
| | | ボタン押下可否を設定する | ボ タン |
| | | | ID.:6 KEY:"↑" |
| | | ボタン押下可否を設定する | |
| | | | KEY:"↓" |
| | | ボタン押下可否を設定する | |
| | | | KEY:"削除" |
| | アクションイベント | ボタン押下可否を設定する | |
| KEY: "ボタン有効化" | | | KEY:"選択解除" |
| | | ボタン押下可否を設定する | <u> ボタン</u> D:6 |
| | | | <u>KĒY:"↑"</u> |
| | | ボタン押下可否を設定する | ID:7 |
| | | | (KEY:"↓" |
| | | ボタン押下可否を設定する | |
| | | | KEY:"削除" |

Step.10 選択されている行を上・下に動かす

選択されている行を上・下に動かして、テーブル内の行の順番を変えることができます。 テーブルのデータは一旦すべて変数に格納されます。 変数の中で行を指定します。

1) 変数

データを一時的に記憶しておく(格納しておく)領域を変数といいます。主なものは以下のとおりです。

| 変数名 | 役 割 |
|------------------------|-----------------|
| 文字列格納変数 | 文字列が格納できる変数 |
| | 変数に入る文字数は制限なし |
| 任意精度実数(BigDecimal)格納変数 | 実数が格納できる変数 |
| 任意精度整数(BigInteger)格納変数 | 整数が格納できる変数 |
| リスト格納変数 | リストが格納できる |
| | (リストにリストが格納できる) |
| テーブル格納変数 | テーブルが格納できる変数 |

2) 選択されている行を移動する

選択されている行を上・下に動かして、テーブル内の行の順番を変えることができます。 テーブルのデータは一旦すべて変数に格納されます。 変数の中で行を指定し移動します。

完成図

以下のように完成しましょう。(選択している行が1行下がります)

| 4 | | | | | | |
|----------------|---------------------|---------------------|----------|---------------------|----|------|
| 追加 | 選択解除 ↓ | ↓ 肖邶余 |] | | | |
| 品番 工程種別 | 開始日時 | 終了日時 | 数量 | 検査書類 | | |
| MZ001_AA1 切削 | 2006/02/01 9:00:00 | 2006/02/01 19:00:00 | 5 | | | |
| MZ002_BB1 表面処理 | 2006/02/05 15:00:00 | 2006/02/05 16:00:00 | 5 | | | |
| | 1970/01/01 9:00:00 | 1970/01/01 9:00:00 | 0 | | | |
| | 1970/01/01 9:00:00 | 1970/01/01 9:00:00 | 0 | | | |
| | | | | | | |
| | \$ | | | |) | |
| \backslash | | 這加」「選択解除 | | | | |
| | 品番 工程 | 種別 開始日時 | ŧ [| 終了日時 | 数量 | 検査書類 |
| | MZ001_AA1 切削 | 2006/02/01 9:0 | 00:00 2 | 2006/02/01 19:00:00 | 5 | |
| | | 1970/01/01 9:0 | 00:00 1 | 970/01/01 9:00:00 | 0 | |
| | MZ002_BB1 表面処 | 理 2006/02/0515 | :00:00 2 | 2006/02/05 16:00:00 | 5 | |
| | | 1970/01/01 9:0 | 00:00 1 | 970/01/01 9:00:00 | 0 | |
| | | | | | | |
| | < | | | | | > |

考え方

- 1. 移動したい行を選択する
- 2. テーブル全体を一時的に変数に格納する
- 3. [↑] [↓] をクリックするとデータが行ごと移動する

準 備

ここでは以下のコンポーネントを使用します。

| コンポーネント名 | 必要数 | |
|-----------|-----|------------------------|
| ■テーブル格納変数 | 1 | [処理部品]-[変数]-[テーブル格納変数] |

操作

必要なコンポーネントを追加します。
 作業領域で右クリックー[コンポーネント追加] - [処理部品] - [変数] - [テーブル格納変数]
 と順にクリックし追加します。

接続確認

コンポーネント同士の接続を確認します。

| [↑]ボタンをクリックしたらテーブル全体を[テー | ・ブル格納変数] に格納する |
|--------------------------|----------------|
|--------------------------|----------------|

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|--------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■ ギタン (ID:6 Kov:↑) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生するイベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント | ■テーブル格納変数(ID:11) |
| | |
| 起動メソッド | テーブルを設定する(PFObjectTable) |
| <引数> | 説明:設定するテーブル |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テーブル(ID:2) |
| | メソッド/値:テーブルデータを取得する |

行位置のインデックスを1つ減らす2

| 接続先コンポーネント2 | ■テーブル格納変数(ID:11) |
|-------------|------------------------|
| 起動メソッド | 指定行位置インデックスを1つ減らす(int) |
| <引数> | 説明:指定行インデックス |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント : テーブル(ID:2) |
| | メソッド/値:選択行の位置を取得する |

選択されている行位置を取得し、選択状態に設定する❸

| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
|------------|-------------------------|
| 起動メソッド | 選択行を指定する(int, int) |
| <引数0> | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テーブル格納変数(ID:11) |
| | メソッド/値:行の選択位置を取得する |
| <引数1> | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テーブル格納変数(ID:11) |
| | メソッド/値:行の選択位置を取得する |

[↓] ボタンをクリックしたらテーブル全体を [テーブル格納変数] に格納する

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|---------------------------------|
| 接続元コンポーネント | <mark>■</mark> ボタン(ID:7, Key:↓) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生するイベント | アクションイベント |
| 接続先コンポーネント① | ■テーブル格納変数 (ID:11) |
| | |
| 起動メソッド | テーブルを設定する(PFObjectTable) |
| <引数> | 説明:設定するテーブル |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント : テーブル(ID:2) |
| | メソッド/値:テーブルデータを取得する |

行位置のインデックスを1つ増やす2

| 接続先コンポーネント ② | ■テーブル格納変数(ID:11) |
|---------------------|------------------------|
| 起動メソッド | 指定行位置インデックスを1つ増やす(int) |
| <引数> | 説明:指定行インデックス |
| | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント : テーブル(ID:2) |
| | メソッド/値:選択行の位置を取得する |

| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
|------------|-------------------------|
| | |
| 起動メソッド | 選択行を指定する(int, int) |
| <引数0> | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テーブル格納変数(ID:11) |
| | メソッド/値:行の選択位置を取得する |
| <引数1> | 取得方法:メソッド戻り値 |
| | コンポーネント:テーブル格納変数(ID:11) |
| | メソッド/値:行の選択位置を取得する |

移動後のテーブルのデータをテーブルに再設定する

| 接続項目 | 接続関係 |
|-----------------|-----------------------------|
| 接続元コンポーネント | ■テーブル格納変数(ID:11) |
| (イベント発生コンポーネント) | |
| 発生するイベント | データ更新イベント |
| 接続先コンポーネント | ■テーブル (ID:2) |
| | |
| 起動メソッド | テーブルデータを設定する(PFObjectTable) |
| <引数> | 説明:テーブルデータ |
| | 取得方法:イベント内包 |
| | メソッド/値:イベント対象データ |

操作

__ [↑] ボタンをクリックしたら選択されている1行が上に移動するようにしましょう。

使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[(↑) ボタン(ID:6)] コンポーネントの上で右クリック- [イベント処理追加]
 - [アクションイベント] とクリックします。

――[↑]ボタンをクリックしたらテーブル全体を[テーブル格納変数]に格納する❶――

- ② イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の〔(↑) ボタン(ID:6)〕コンポーネントの〔アクションイベント〕上で
 右クリックー〔起動メソッド追加〕とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー〔接続コンポーネント選択〕 〔テーブル格納変数(ID:11)〕コンポーネントをクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリック- [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド設定画面が表示されます。
 起動メソッド(処理)を選びます。
 [メソッド]の マをクリックします。

[テーブルを設定する(PFObjectTable)]をクリックします。

引数を設定します。

説明:設定するテーブル

取得方法:メソッド戻り値

コンポーネント:テーブル

メソッド/値:テーブルデータを取得する

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩ 起動メソッド情報 | | | | |
|-----------------|---------------|-------------------|---------------------------|--------------|
| | メソッド テーブルを設定す | ය (PFObjectTable) | | 💌 🗌 全メソッド対象 |
| 型 | I.兑8月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 PFObjectTable | 設定するテーブル | メソッド戻り値 | テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | テーブルデータを取得する |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

─行位置のインデックスを1つ減らす❷───

④ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の〔(↑) ボタン(ID:6)〕コンポーネントの〔アクションイベント〕上で
 右クリックー〔起動メソッド追加〕とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー〔接続コンポーネント選択〕 〔テーブル格納変数(ID:11)〕コンポーネントをクリックします。

⑤ 接続したいコンポーネントの処理を選びます。

接続したいコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。 起動メソッド設定画面が表示されます。

起動メソッド(処理)を選びます。

[メソッド]の 🔽 をクリックします。

[指定行の位置インデックスを1つ減らす(int)]をクリックします。

引数を設定します。

説明:指定行インデックス

取得方法:メソッド戻り値

コンポーネント:テーブル

メソッド/値:選択行の位置を取得する

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | 🗵 |
|-------------|----------------|-----------------|---------------------------|-------------|
| | メソッド 指定行の位置インテ | デックスを一つ減らす(int) | | ● ■ 全メソッド対象 |
| NO 型 | II兑8月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 int | 指定行インデックス | メソッド戻り値 | テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | 選択行の位置を取得する |
| | | | | · · · |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 88 |
| | | | | 開しる |

─選択されている行位置を取得する❸───

- ⑥ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の〔(↑) ボタン(ID:6)〕コンポーネントの〔アクションイベント〕上で
 右クリックー〔起動メソッド追加〕とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー〔接続コンポーネント選択〕 〔テーブル(ID:2)〕コンポーネントをクリックします。
- ⑦ 接続したコンポーネントの処理を選びます。

接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。 起動メソッド設定画面が表示されます。

- 起動メソッド(処理)を選びます。
- [メソッド]の 🔽 をクリックします。
- [選択行を指定する(int, int)] をクリックします。
- 引数0を設定します。
 - 説明:開始行の位置
 - 取得方法:メソッド戻り値
 - コンポーネント:テーブル格納変数
 - メソッド/値:行の選択位置を取得する
- 引数1を設定します。
 - 説明:終了行の位置
 - 取得方法:メソッド戻り値
 - コンポーネント:テーブル格納変数
 - メソッド/値:行の選択位置を取得する

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| <u>~</u> 2 | 起動メソッド情報 | | | | X |
|------------|----------------------------------|------------------|-------------|-------------------------------------|-------------|
| | メソッド 選択行を指定する(int,int) | | ▼ □ 全メソッド対象 | | |
| NO | 型 | 見 ¹ 月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| | Dint | 開始行の位置 | メソッド戻り値 | テーブル格納変数 [ID:11] (KEY:"テーブル格納変数11") | 行の選択位置を取得する |
| | 1 int | 終了行の位置 | メソッド戻り値 | テーブル格納変数 [ID:11] (KEY:"テーブル格納変数11") | 行の選択位置を取得する |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | BUT Z |
| | | | | | COR |

操作 [↓] ボタンをクリックしたら選択されている1行が下に移動するようにしましょう。

- 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[(↓) ボタン(ID:7)] コンポーネントの上で右クリック---[イベント処理追加]
 ---[アクションイベント] とクリックします。
- [↓] ボタンをクリックしたらテーブル全体を [テーブル格納変数] に格納する
 ① イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の [(↓) ボタン(ID:7)] コンポーネントの [アクションイベント] 上で
 右クリック- [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック- [接続コンポーネント選択] 「テーブル格納変数(ID:11)] コンポーネントをクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド (処理)を選びます。
 [メソッド]の をクリックします。
 [テーブルを設定する (PFOb jectTable)]をクリックします。
 引数を設定します。
 説明:設定するテーブル

取得方法:メソッド戻り値

コンポーネント:テーブル

メソッド/値:テーブルデータを取得する

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩ 起動メソッド情報 | | | | × |
|-----------------|---------------|------------------|---------------------------|--------------|
| | メソッド テーブルを設定す | る(PFObjectTable) | | 💌 🗌 全メソッド対象 |
| 型 | 記日月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 PFObjectTable | 設定するテーブル | メソッド戻り値 | テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | テーブルデータを取得する |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

─行位置のインデックスを1つ増やす❷───

- ④ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(↓) ボタン(ID:7)] コンポーネントの [アクションイベント] 上で
 右クリック- [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリック- [接続コンポーネント選択] [テーブル格納変数(ID:11)] コンポーネントをクリックします。
- ⑤ 接続したいコンポーネントの処理を選びます。

| 接続したいコンポーネントの上で右クリック- | [起動メソッド設定] | をクリックします。 |
|-----------------------|------------|-----------|
| 記動メソッド設定画面が表示されます | | |

起動メソッド(処理)を選びます。

[メソッド]の 🔽 をクリックします。

[指定行の位置インデックスを1つ増やす(int)]をクリックします。

引数を設定します。

説明:指定行インデックス 取得方法:メソッド戻り値

コンポーネント:テーブル

メソッド/値:選択行の位置を取得する

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | |
|-------------|----------------|-----------------|---------------------------|--|
| | メソッド 指定行の位置インラ | デックスを一つ減らす(int) | | ▶ □ 全メソッド対象 |
| NO 型 | 記印 | 取得方法 | コンボーネント | メソッド/値 |
| 0 int | 指定行インデックス | メソッド戻り値 | テーブル [ID:2] (KEY:"テーブル2") | 選択行の位置を取得する |
| | | | | i de la companya de la |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 閉じる |

─選択されている行位置を取得する❸──

- ⑥ イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[(↓) ボタン(ID:7)] コンポーネントの [アクションイベント] 上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー [接続コンポーネント選択] –
 「テーブル(ID:11)] コンポーネントをクリックします。
- ⑦ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 - 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。 起動メソッド設定画面が表示されます。
 - 起動メソッド(処理)を選びます。
 - [メソッド]の 🔽 をクリックします。

[選択行を指定する(int, int)] をクリックします。

- 引数0を設定します。
 - 説明 : 開始行の位置
 - 取得方法:メソッド戻り値
 - コンポーネント:テーブル格納変数
 - メソッド/値:行の選択位置を取得する
- 引数1を設定します。
 - 説明:終了行の位置
 - 取得方法:メソッド戻り値
 - コンポーネント:テーブル格納変数
 - メソッド/値:行の選択位置を取得する
- 設定後、閉じるボタンをクリックします。

| 🐕 起動メソッド情報 | | | | | × |
|------------|-----------|-----------------|-------------------------------------|-------------|-----|
| | メソッド 選択行る | を指定する (int,int) | | | |
| NO 型 | 説明 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 | |
| 0 int | 開始行の位置 | メソッド戻り値 | テーブル格納変数 [ID:11] (KEY:"テーブル格納変数11") | 行の選択位置を取得する | |
| 1 int | 終了行の位置 | メソッド戻り値 | テーブル格納変数 [ID:11] (KEY:"テーブル格納変数11") | 行の選択位置を取得する | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | 用しる |

操作 行移動後のテーブルデータをテーブルに設定しましょう。

- ① 使用するイベントを選択し、コンポーネントを接続する準備をします。
 左側の[テーブル格納変数(ID:11)] コンポーネントの上で右クリック- [イベント処理追加]
 [データ更新イベント] とクリックします。
- 2 イベントの接続先コンポーネントを選びます。
 左側の[テーブル格納変数(ID:11)] コンポーネントの[データ更新イベント]上で
 右クリックー [起動メソッド追加] とクリックします。空の四角い枠が追加されます。
 右側に追加された空の四角い枠にコンポーネントを割り当てます。
 右側に追加された空の四角い枠の上で右クリックー [接続コンポーネント選択] ー
 [テーブル(ID:2)] コンポーネントをクリックします。
- ③ 接続したコンポーネントの処理を選びます。
 接続したコンポーネントの上で右クリックー [起動メソッド設定...]をクリックします。
 起動メソッド (処理)を選びます。
 [メソッド]の
 をクリックします。
 [テーブルデータを設定する (PF0b ject Table)]
 引数を設定します。
 説明:テーブルデータ
 取得方法:イベント内包
 メソッド/値:イベント対象データ

設定後、閉じるボタンをクリックします。

| ₩2 起動メソッド情報 | | | | |
|-----------------|---------|---------------|---------------------------|-----------|
| | メソッ | ▶ テーブルデータを設定す | る(PFObjectTable💌 🔲 全メソッ 梣 | 讨象 |
| NO 型 | II. 10月 | 取得方法 | コンポーネント | メソッド/値 |
| 0 PFObjectTable | テーブルデータ | イベント内包 | - | イベント対象データ |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 開じる |

④ 設定できたことを確認します。

実行(設定可)で実行します。

任意の行を選択し、[↑] [↓] で選択した行が移動することを確認します。

ここまで進めるとビルダー上では以下のようになります。

| (■ アブリケーション | アプリケーション開始イベント | フレームを表示する | [] JU-4 |
|---------------------------|---|---|--|
| KEY:" | | J 2 2 2 301 3 3 | ID:1 KEY:"フレーム1" |
| | | doClick | 「」ボタン |
| | | | ID:5 KEY:"選択解除" |
| | アクションイベント | アプリケーションを終了する | ■ アブリケーション |
| ID:1 KEY:"フレーム1" | • | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | KEY:" |
| [] テーブル | データ選択イベント | 処理を呼び出す | ☐ サブルーチン |
| ID:2 KEY:"テーブル2" | | | ID:10 KEY:"ボタン有効化" |
| 「パネル」 | | | |
| ID:3 KEY:"パネル3" | | | |
| ボタン | アクションイベント | 行を追加する | 「 テーブル |
| ID:4 KEY:"追加" | | | ID:2 KEY:"テーブル2" |
| 「 ボタン | アクションイベント | clearSelection | <u> </u> |
| ID:5 KEY:"選択解除" | - T | | ID:2 KEY:"テーブル2" |
| | | 処理を呼び出す | <u> </u> |
| | | | ID:9 KEY:"ボタン無効化" |
| | アクションイベント | テーブルを設定する | |
| | • · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | ID:11 KEY:"テーブル格納変数11" |
| | | 指定行の位置インデックスを一つ減らす | |
| | | | ID:11 KEY:"テーブル格納変数11" |
| | | 選択行を指定する | |
| | | | 10.2 KEY:"テーブル2" |
| | アクションイベント | テーブルを設定する | テーブル格納変数 ID:111 |
| KEY:"↓" | Ť | | ID-11 KEY:"テーブル格納変数11" |
| | | 指定行の位置インデックスを一つ増やす | |
| | | | KEY:"テーブル格納変数11" |
| | L | 選択行を指定する | <u> 「 テーブル </u> 」 D:2 |
| | | | KEY:"テーブル2" |
| ■ ボタン ID:8 | | 特定行を削除する | <u> </u> |
| KEY:"削除" | | | KEY:"テーブル2" |
| | | doClick | <u> 一</u> 「D:5 |
| | _2 | | (KEY:"選択解除" |
| <u> </u> | | ボタン押下可否を設定する | ID:5 |
| KEY: "ボタン無効化" | | | (KEY:"選択解除" |
| | - | ボタン押下可否を設定する | D:6 |
| | | | |
| | - | ボタン押下可否を設定する | 10:7 |
| | | | (KEY:"↓" |
| | L | ボタン押下可否を設定する | |
| | アクションノイベント | | |
| | | ボタン押下可否を設定する | ID:5 |
| | | | |
| | | ボタン押ト可否を設定する | D:6 VEV:"↑" |
| | | | |
| | | ホタン押ト可否を設定する | ID:7 |
| | | ᅶᇧᆞᆊᅖᅚᇹᆤᆓᅶᆙᄮᆕᆂᆃ | |
| | L | 不タノ押ト可告を設定する | ID:8 KEY:"IIIB#" |
| 「テーブル格納変数 | データ更新イベント | <u>—, _, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u> | 「テーブル |
| ID:11 KEY:"テーブル格纳密数11" | • | テーフルナーダを設定する | ID:2 KEY:"テーブル?" |
| | | | |